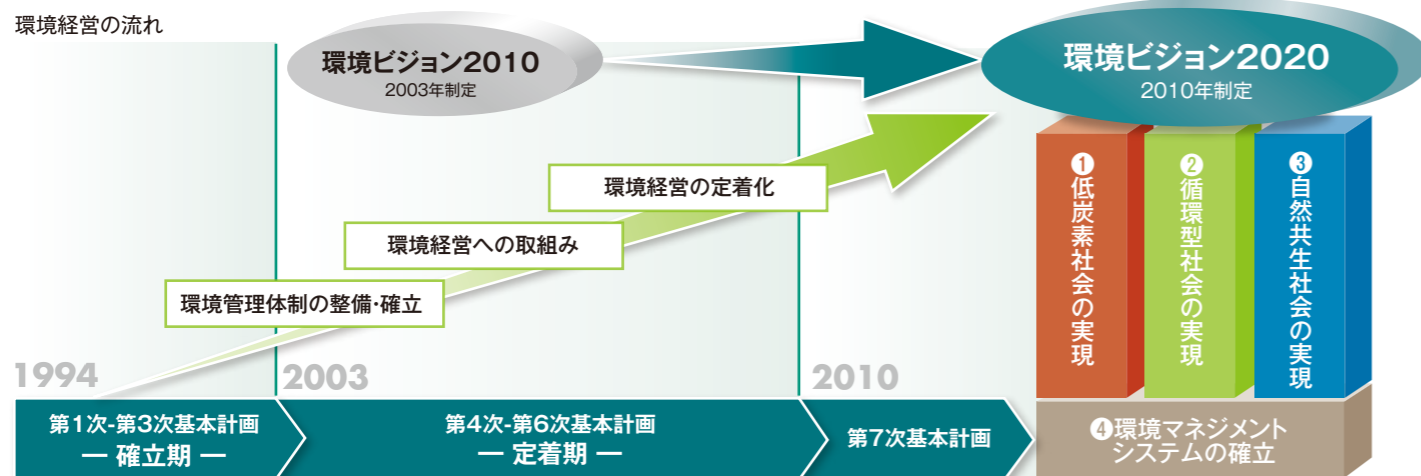


「地球が微笑むものづくり」を 追い求めます

環境経営の考え方

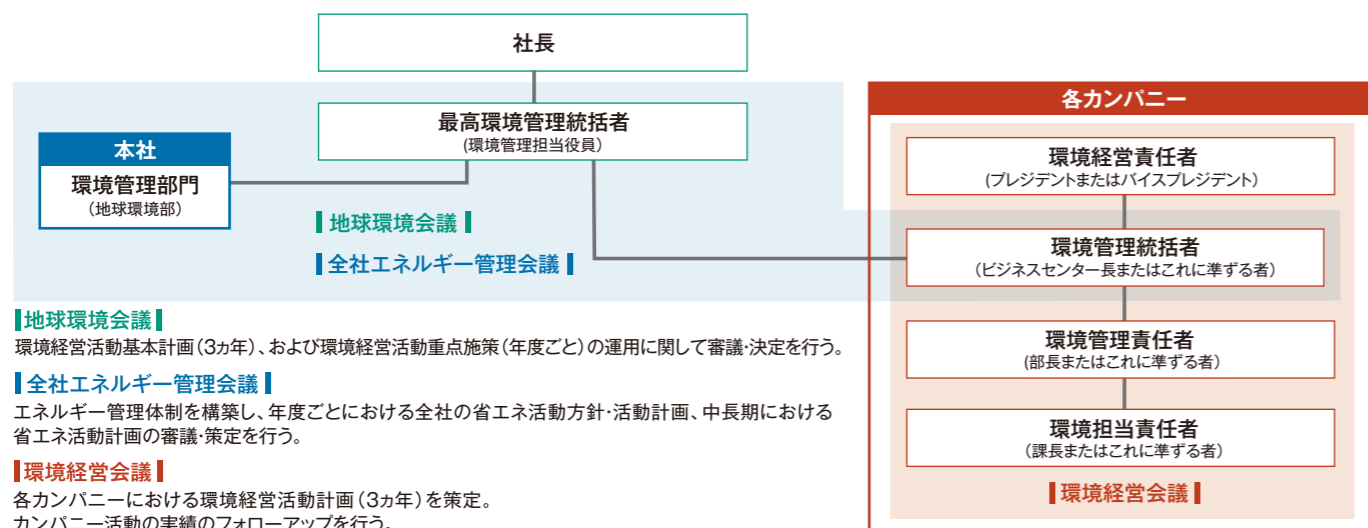
川崎重工グループの2020年のあるべき姿を目指して「環境ビジョン2020」を制定しました。また、ビジョン実現を目指して3か年ごとに定める「環境経営活動基本計画」では、①低炭素社会の実現、②循環型社会の実現、③自然共生社会の実現、④環境マネジメントシステムの確立を基本方針とし、2010年度から2012年度の第7次環境経営活動基本計画では以下の内容を重点的に推進していきます。

基本方針	第7次基本計画
① 低炭素社会の実現	CO ₂ 削減とエネルギーコスト削減
② 循環型社会の実現	廃棄物削減
③ 自然共生社会の実現	有害な化学物質の削減
④ 環境マネジメントシステムの確立	国内外事業所の環境マネジメントシステムの構築



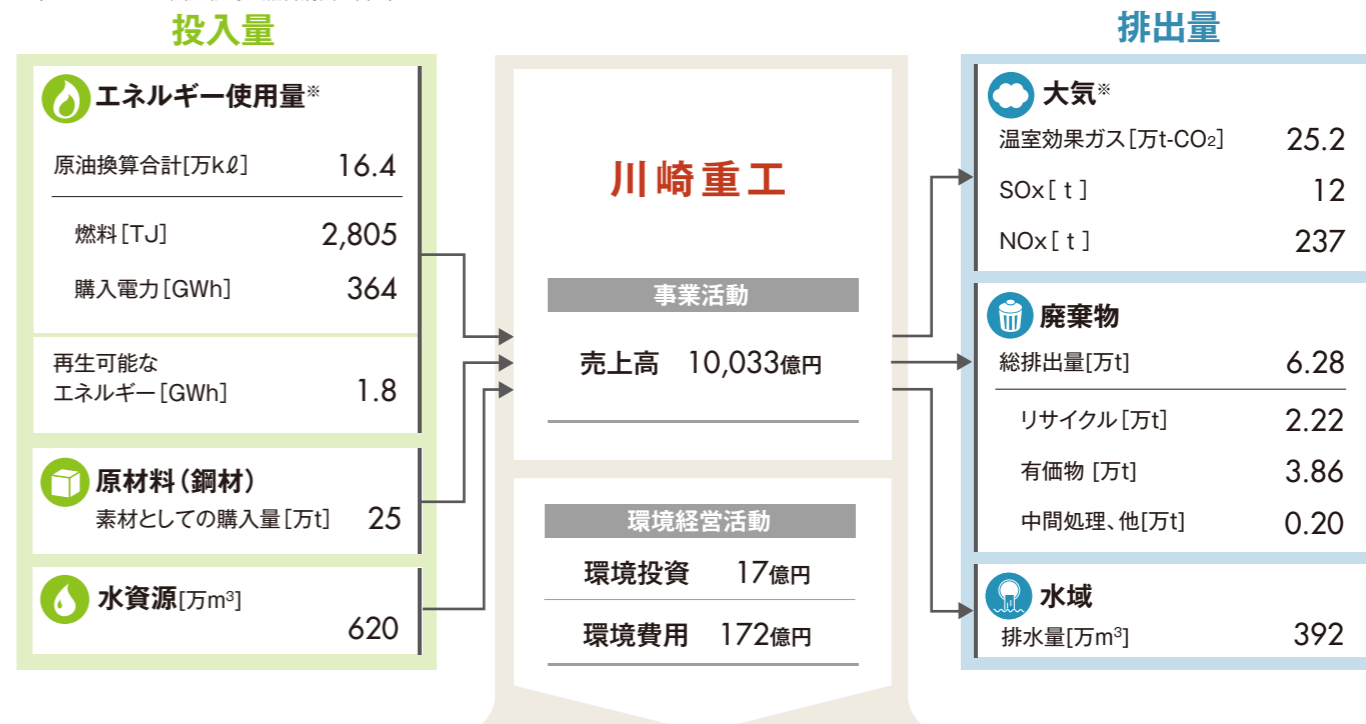
環境経営組織

当社は地球環境会議にて最高環境管理統括者を議長とし、重要事項の運用に関して審議・決定しています。また、策定された環境経営活動基本計画をそれぞれの事業部門が活動に展開できるよう、各カンパニーの組織に対応して、環境経営責任者、環境管理統括者、環境管理責任者、環境担当責任者を選任し、環境経営を推進できる組織体制を確立しています。



事業活動による環境負荷および製品を通じた環境貢献

2011年度の当社の生産活動に使われた資源の投入量と排出量は以下の通りとなります。
(※ ガスタービン試運転時の燃料消費を含む)



製品を通じた環境貢献

当社は、製品の高効率・省資源・環境負荷低減等で環境にやさしい製品を提供しています。

※製品を通じた環境貢献については、Webで報告しています。



「地球が微笑むものづくり」を
追い求めます

工作機械の待機電力カット、圧縮空気のエア漏れ防止、不要照明の消灯などをすべての職場で実施することで使用するエネルギーの無駄を省いています。

当社で初めて、旧野田工場の114台のPCB混入コンデンサの処理が行われました。今後も廃棄物の適正処理に努めていきます。

使用済で廃棄する「ジェットスキー®」も、FRP船リサイクルシステムにより、広域認定制度を使って収集運搬され、解体・処理の上、再資源化されています。

工場ではさまざまな産業廃棄物が発生しますが、リサイクルしやすいように細かく分類し、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクルされています。

国内主要工場の11カ所に太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーの利用を推進しています。
2011年度発電実績:1.8GWh



CO₂・エネルギー削減



廃棄物の適正処理



3Rの推進



分別収集

自社製品のガスタービンやガスエンジン発電設備等を国内工場に導入し、電気と熱のエネルギーを無駄なく利用するコージェネレーションシステムを導入しています。
2011年度発電実績:1.20GWh



再生可能エネルギー活用



自家発電

低炭素社会の実現

循環型社会の実現



自然共生社会の実現

環境マネジメントシステムの確立

エネルギーを無駄なく利用する製品とものづくりで、グローバルに地球温暖化防止に貢献

資源を無駄なく利用する製品とものづくりで、有限な資源を大切に活かし切り、循環させる

地球環境に調和した製品とものづくりで、環境負荷を下げ、生態系の保全に貢献

環境ビジョン2020を実現する環境経営の基盤づくり

化学物質情報管理



外部講師を招いて、REACH規則等への対応を中心に、化学物質情報管理について全社で勉強会を開催しました。

森林保全活動



地域社会との共生・生物多様性保全を目的に2008年12月から兵庫県の「企業の森づくり」事業に参画しています。

環境との共生



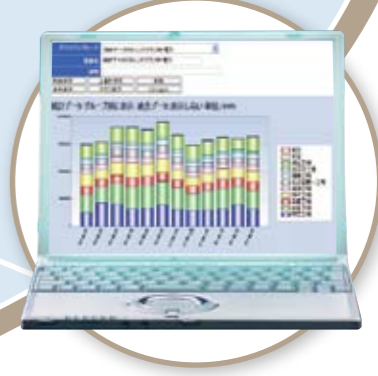
自然採光、太陽光発電、風力発電、屋上緑化、高性能ペアガラスなどを採用し、環境に配慮した神戸工場新館が完成しました。

環境教育



当社グループ従業員の環境意識の維持・向上のため、環境eラーニングを新入社員に対して実施しています。

環境データ管理



各事業所からの環境データをデータセンターに集約する環境経営情報管理システム「ECOKEEP」を構築し、環境データの集約・即時出力が可能になりました。

環境経営



2011
当社は2011年12月、日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

日本政策投資銀行より優遇金利による融資を受けました。当社の環境経営が評価され、最高ランクの格付を取得した結果です。